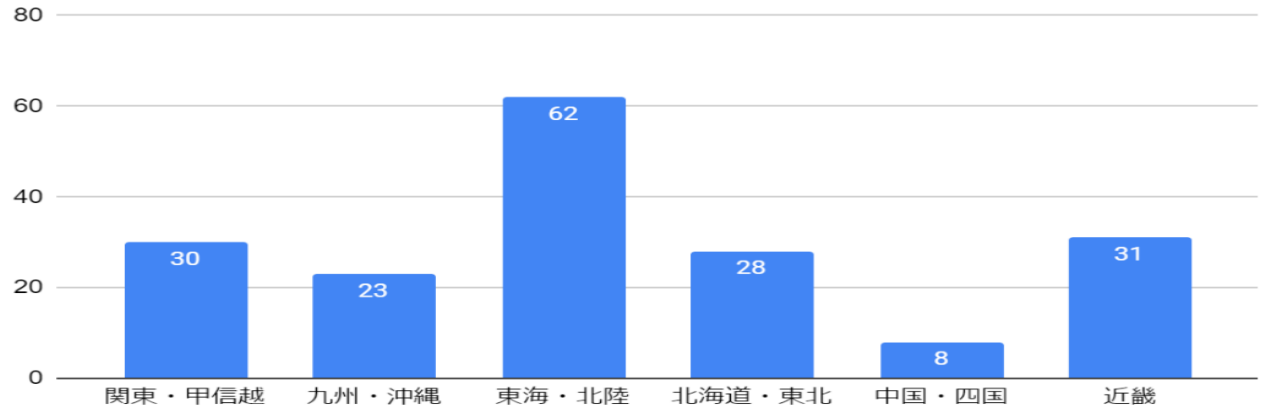
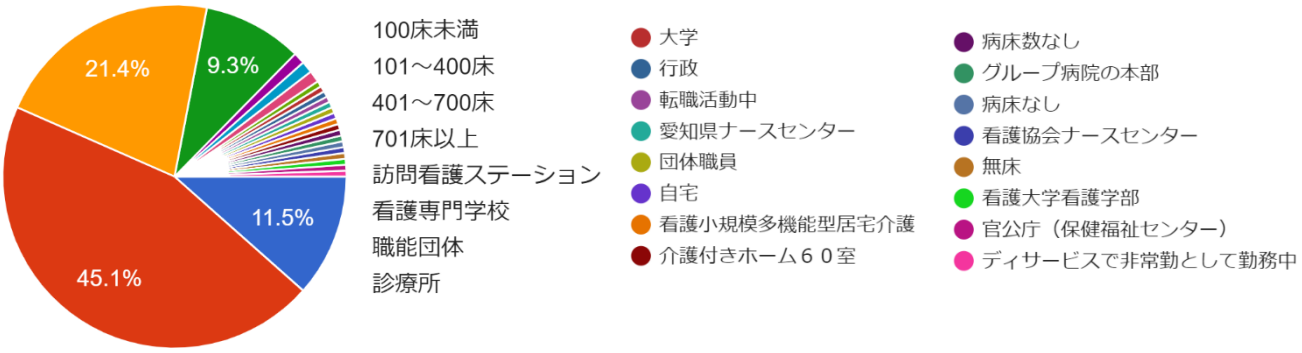
2023 年　第 24 回認定看護管理者会　総会･研修会アンケート結果（最終）

回収率　56％（回答者 182 人/参加者 325 人）

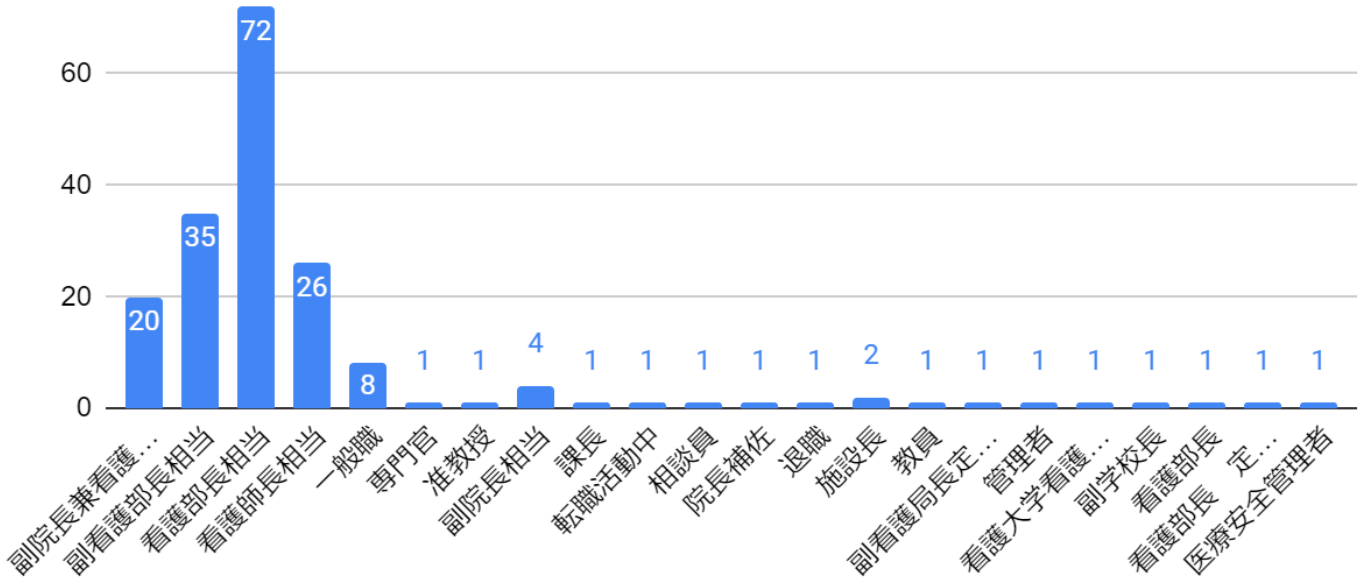
1. ブロック別参加数



2. 参加者施設の病床数



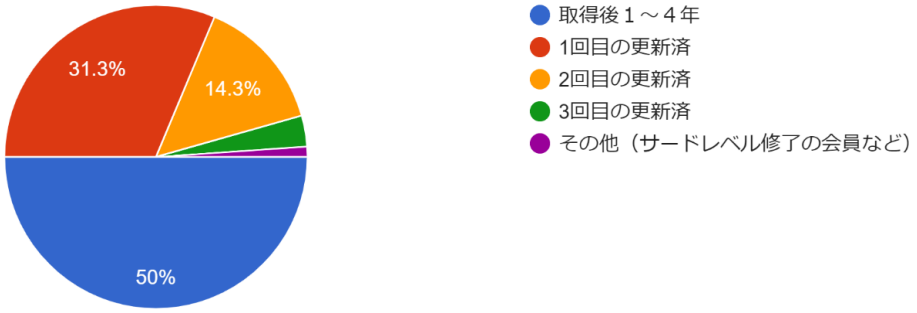
3. 参加者の職位



参加者の職位は、看護部長相当が約 40％と最も多く、副看護部長相当 19％、看護師長相当 14％、副院長兼看護部長 11％である。副院長相当や院長補佐等職位は多様である。

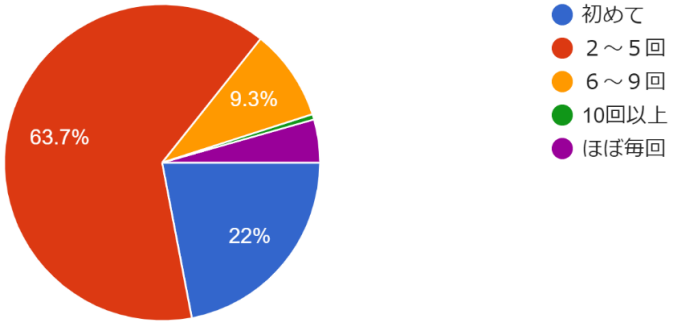
4. 認定看護管理者認定後の年数

参加者の認定看護管理者認定後の年数は、取得後 1～4 年が 50%と最も多く、次いで 1 回目の更新済 31.3%、2 回目の更新済が 14.3%である。



5. 総会・研修会の参加回数

参加者の総会・研修会の参加回数は、「2～5 回」が 63.7%と最も多く、次いで「初めて」が 22%、「6～9 回」が 9.3%である。

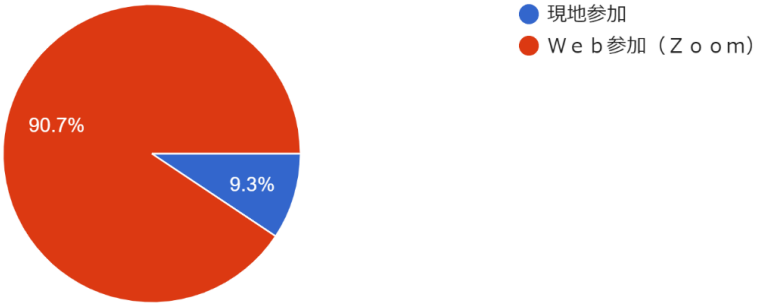


6. 総会・研修会の参加動機

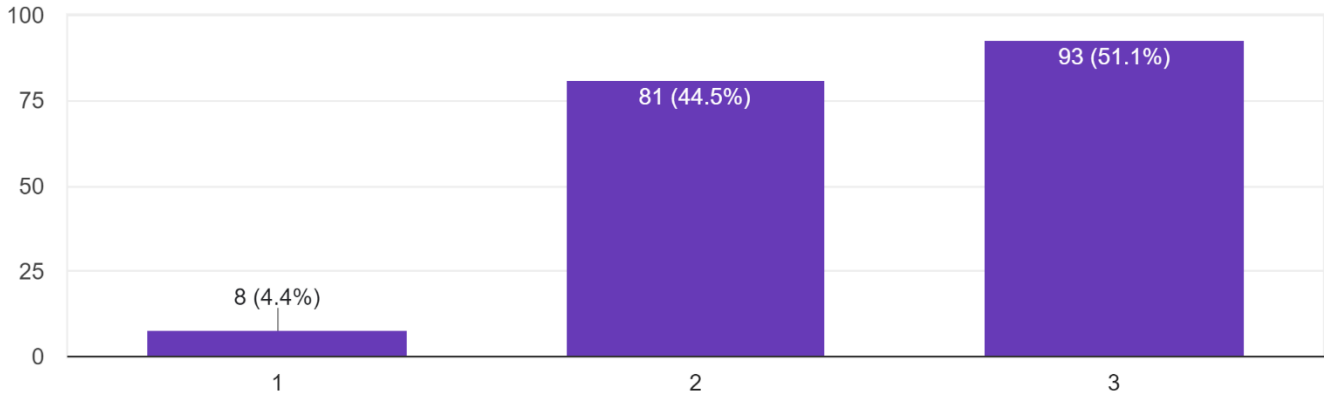
参加動機については、「総会・研修会への興味」と「ハイブリッドで参加しやすい」という意見が多い。

7. 総会・研修会の参加方法

参加方法については、Web 参加が約 90.7%、現地参加が 9.3%であった。



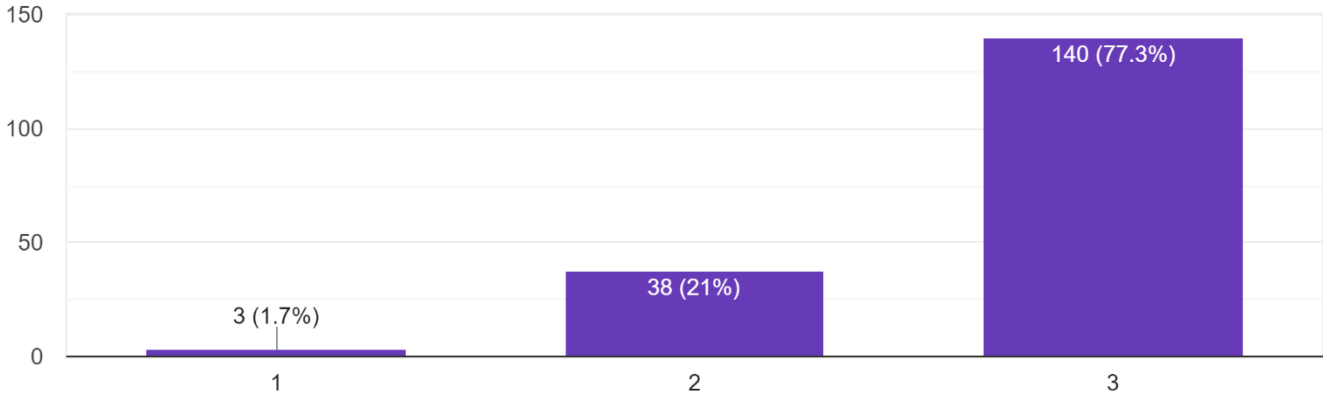
8. ハイブリッドでの開催について　（　1:満足できなかった　　2:満足できた　　3:大いに満足できた　）



9. ハイブリット開催の感想や意見（抜粋）

- Web は、とても参加しやすい（多数）。移動せず遠方からの参加がしやすい。
- 忙しい中、生活を大切にしながら参加できるので今後もハイブリットでお願いしたい。これも多様性かと思う。
- 近いから現地、ではなくその人のライフスタイルに合わせること、選べることがよい。
- 効率的で、スムーズな運営だったと思う（多数）。今後も継続してほしい。
- 初めての試みというのもあり、わかりにくい点もあったため、すべてが満足や参考になったとは言えない。マイクの調子が今一つで、役員の声が聞き取りづらく、ランチョンセミナーやグループディスカッションや音声に難があった（多数）。
- 現地での参加者の数もそんなに多くなさそうだったので、わざわざハイブリッドにしなくても、すべてオンラインでも良かった。次年度からは、現地開催かオンラインかの 2 択で良いと思う。
- システナなどの配信関連業者に依頼（会費からの予算をもう少し計上）して、運営側の労力を下げてスムーズな通信環境になるのを期待する。

10. 特別講演について　　（　1:参考にならなかった　　2:参考になった　　3:大いに参考になった）

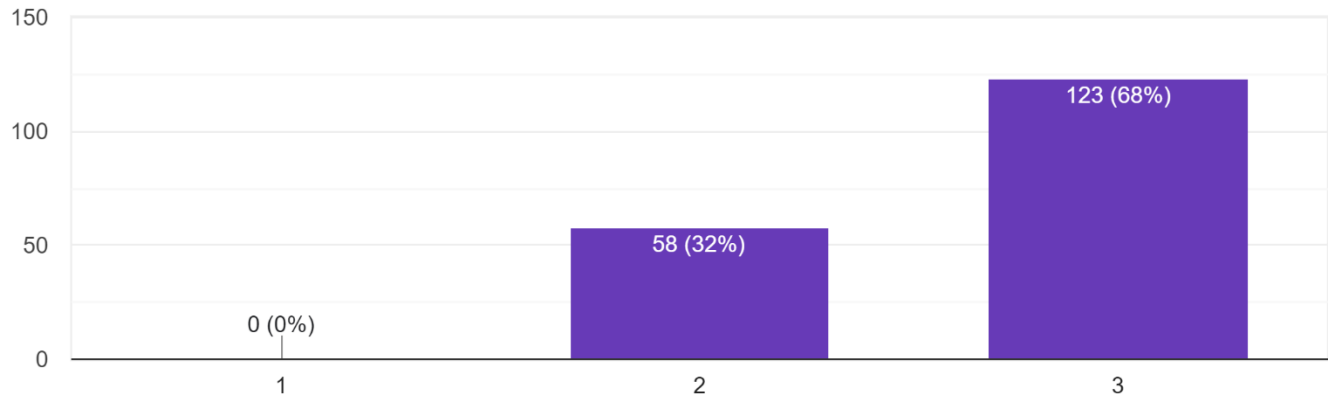


11. 特別講演について、感想や意見（抜粋）

- セカンドキャリアについて、今日から考えたい。前向きな気持ちになった（多数）。
- キャリアデザイン、セカンドキャリアについて自分の課題や病院における課題が明確になった（多数）。
- 60 歳定年を迎える年に講演を聴けたことを大変意味深く感じた。
- 今からでも遅くない、自分自身のキャリアを考えようと思えた。一方、もう少し早い段階で準備が必要だとも思った。
- どの看護師にも必要だと感じた。広めていきたいと思う。

- キャリアを考えるために、今すぐライフラインチャートを作成することでやりたいことや価値観の見直しにつながり、また積極的な情報収集にもつながることが理解できた。統合的人生設計シート作成にぜひチャレンジしてみようと思う（多数）。
- 後任の育成にも必要な情報だった（4）。
- 私自身がすでに実践していることだったので、もっと多くの看護職に伝えてほしいと思っている。
- トランジション（転機）、自分自身の棚卸しについて、心理学的観点からもっとお話し聴きたいと思った。
- 看護職とは違う立場でのお話のため、新鮮だった。時代の流れとキャリアの考え方が参考になった。
- 少し盛り上がりに欠けた。焦点を絞って頂いたほうがわかりやすいとおもいました。
- 内容は参考になったが、看護管理者、看護師など対象者があいまいな感じがして伝わりにくく感じた。

12. 実践報告について　　（　1:参考にならなかった　2:参考になった　3:大いに参考になった）

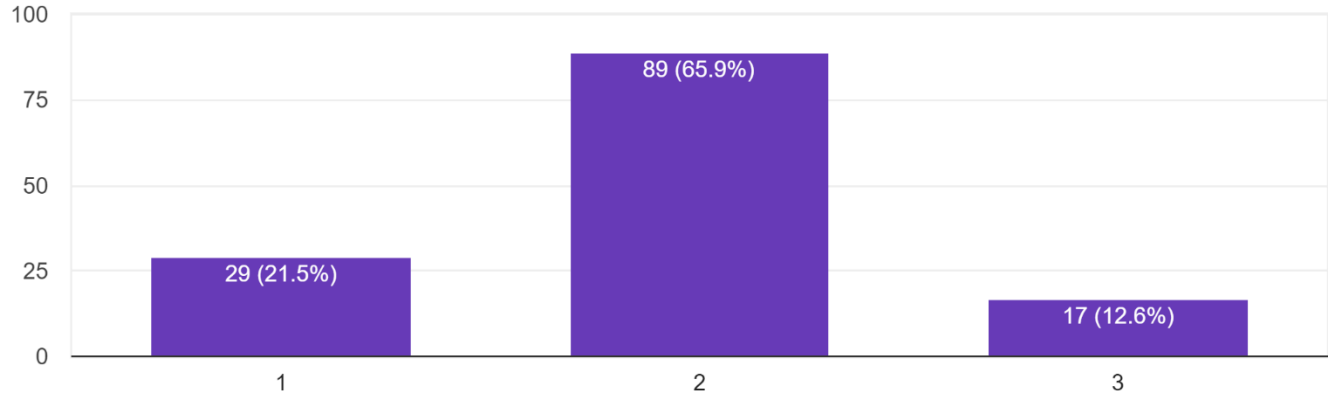


13. 実践報告について、感想や意見（抜粋）

- 素晴らしい発表内容だった（多数）。
- 参考になった（多数）。
- 今の自分と重ね合わせて考えられた。セカンドキャリアについて真剣に考えている（多数）。
- セカンドキャリアについて、早めに考える機会となった。
- 3 人の方の看護師としての人生の歩み方に尊敬しかない。勇気をいただいた。語りを聞く機会が今後も欲し•いと思った。さすがに看護管理者として長く勤務しておられる方は違うなと思った。
- 理論に基づいて丁寧に説明される中で、自分の本音も交えていただきとても参考になった。
- 自分とも同じ波長の方だなと勝手に思い、次回はぜひ直接お会いしてお話をしたいとも思った。トップマネージャーからプラチナナースへの転機をどのように切り替えられ、活躍されているのか参考になった。
- 看護管理（特に職位が上で期間が長ければより）を行っている方のセカンドキャリアは、マネージメントが活かせる職場が必要であると痛感した。
- 認定看護管理者としての自身の在り方について確認する機会になった。もっと早い段階で考える機会が必要なのだと思った。私自身は、今からでも遅くない、整理しようと思った。
- セカンドステージへ移行するまでの葛藤、選択肢、自己を見つめ直すことが重要だと感じている。一方で、今まで全力投球してきた看護師人生から少しゆとりのある生活も望んでいる自身もあり、そんなに頑張れるだろうかとも思った。
- ソーシャルネットワークにより、セカンドキャリアを選択している方が多いのかなと思った。
- 人とのつながりが重要であることがわかり、参考になった。ただ、演者の方々は、次の勤務先が準備されての活動報告であったような印象がある。

- 認定看護管理者は、自分のように、定年退職時に必ずしも看護部長職でない方も多くいると思うので、その方々がどのような就職活動をされ活き活きとお仕事されているかの報告を伺える機会があれば良い。
- 上手くいかなかった（苦慮した事例）事例も聞きかたかった。
- 自分にとってはまだ先のことであり、あまり関心がもてなかった。

14. ランチョンセミナーについて　（　1:参考にならなかった　2:参考になった　3:大いに参考になった）



15. ランチョンセミナーについて、感想やご意見（抜粋）

- 企業理念に、感動した。
- パーパス、ブランディングの重要性がよくわかった（多数）。
- 組織の在り方について考える機会となった。
- テルモの企業理念に触れて組織の信頼性が高まった。
- 機会があればぜひ見学に行ってみたいと思う。技術教育での最新技術のすばらしさに感動した。
- 日本人として誇りに思う企業。講演は聞きやすい内容だった。テルモの歴史は、理解できた。
- 動画の映像と音声の配信に難があり、興味深かっただけに残念だった（多数）
- プログラムでは 1 時間と思っていたが、30 分くらいだった。もう少し聞きたかった。
- 興味がなかった。参加していない（10）。
- 時間配分がわかりにくかったので参加しなかった。

16. 総会についての感想やご意見（抜粋）

- 会の事業報告や活動を知る機会となった。次年度以降も認定看護管理者として参加する必要性を感じた。
- ハイブリッドは大変ですが、行かなくても良いので助かる（多数）オンラインで十分だった（多数）有意義だった。スムーズな進行と充実した内容で大変ためになった。
- 聞き取りにくかったことのみが残念だったが、役員の方々のご尽力に感謝する（多数）
- 本部へ連絡する宛先（チャット）が明確になっていたらよかった。
- 9 時 30 分から入室出来ると思っていましたが、入室できたのがギリギリだった。
- 音声の不備等はあったが、準備された総会だったと思う。
- 総会要綱も共有画面にして欲しかった。
- 総会開催側のご負担も大きいかと思うが、総会資料の内容と同じものを切り貼りしてスライドに張り付けるだけでもよいのではないか。”
- オンラインでの投票が、改善されると良い。
- アンケート入力について、に登録前に消えてしまったことについて、今後改善をお願いしたい。

- ワークになかなか、入れずすでにワークが始まっていました。もう少し、スムーズにお願いしたい。
- 間合の会話雑音が気になった。
- 途中で投票時間を長くしていただき、投票しやすかった。第 1 号報告や地区ブロック活動報告の時間が長く、終了するか心配した。時間配分は10分伸ばして調整するとよい。
- 運営はとても大変だったと思うが、私は現地に参集できたことで、情報共有や相談など色々な交流が出来た。
- 会計はその年度の会計なので 600 万次に繰り越さなくても、ブロック活動費にもう少し追加してもいいかと思う。

17. 研究プロジェクトについてご意見（抜粋）

- 大変参考になった。内容は、大変興味深い。今度も続けて欲しい（多数）。
- 認定看護管理者であるという差別化の可視化を今後も発信し、診療報酬への加算にむけて欲しい。
- 看護管理者と認定看護管理者との違いを提示できると嬉しい。
- 内容を深めて、CNA という資格による成果を明確にしていきたい。
- 学会に参加できなかったので、発表していただきよくわかった。
- これまで発表された内容を、もう一度聞きたい。可能で有れば発表動画を視聴したい。
- 参加したいと思った。
- 研究内容が診療報酬に繋がると良いと思う。
- 看護管理の実践をデータで示していくこと、考察の内容にとてもインパクトを感じました。勉強になった。
- 看護管理者の実践場面は多くは病院だと思うが、そうでない少数派もいます。病院組織とその他では職場環境が異なるので、区分けをした方がよいのではないかと思った。
- 認定看護管理者の研究アンケート調査では、改めて認定看護管理者の活動は、現場に限られてしまうことを実感した。

18. 地区ブロック活動へのご意見やご提案、期待（抜粋）

- 地区ブロック別の懇談会では、病院以外の方の様々な意見を聞くことができ視野が広がると感じた（多数）。
- 情報交換することはとても励みになる。定期的に会を開催してほしい。もっと交流したい（多数）。
- 意見交換ができ現状把握ができたことは、よかった。自分だけでなくみんな同じ課題があることがわかった。
- 対面での意見交換会を希望する（多数）
- 研修とおしゃべり会も継続して欲しい。
- グループワークで話題になった点、人材育成についてぜひ取り組んでほしい。大病院のみではなく中、小規模病院、訪問看護ステーション、介護施設などの様々な職場を想定して。
- LINE での情報交換を本県でも検討できればいいなと思いました。
- いつも同じ参加者なのでもっと参加してほしいと思います。ハイブリット方式は参加しやすい形式です。
- 地区ブロック活動があまり有効に活用されている実感がない。
- 地区での研修や交流会に悩んでいる。
- 地区別懇談会のグループ分けや司会・書記について直前まで欠席連絡での交代が続いた。認定看護管理者ばかりなので対応もスムーズと思いますので、当日ブロックごとに分かれてもらい、各グループ内で役割分担してはいかがでしょうか？（話し合った内容の送信先だけ明示し後日送信してもらうことにする）
- 自分の住んでいるところでは、県独自の認定看護管理者の会をしており長く懸案であるこの認定看護管理者会とのつながりがないことが課題あり、解決していません。今日のような素晴らしい内容を全国レベルで共有できることを地区ブロックとして伝えていきたいと痛感した。

19. ホームページや会員管理等についてのご意見やご提案等（抜粋）

- リニューアルされて使い易くなった（多数）。
- 会員の登録が変更しやすい。見やすくなったので活用できる。
- 情報交換やヒューマンネットワークを活性化できると期待する。
- 変化していく認定看護管理者会を感じている。やはり新たな力や波が必要だと思った。
- つぶやきを楽しみに拝読している。認定看護管理者会というと敷居が高く感じる会員の方々もおられるのではと思いますが、役員さんを身近に感じることができ、ネットワークの拡大に役立つのではないかと思う。
- 日本看護協会の認定看護管理者のページと認定看護管理者会のホームページがリンクしているのでとても良い。
- 認定看護管理者の資格が訪問看護管理者としても何らかの形で認められるような資格になると良いと思う。

20. 認定看護管理者会の活動へのご意見や提案、2024 年研修会の希望テーマ等について（抜粋）

- これからの看護管理者を担う人材育成（12）、連携
- セカンドキャリアの考え方（4）、管理者のキャリア、起業など
- 人材確保（3）、70 歳までの就労などの人材活用について
- 認定看護管理者の継続の意味づけ働き続けられる職場にするには（2）。
- 業務逼迫などより看護管理者のモチベーション維持。
- 看護管理者ラダーについて、スキルアップについて、問題解決力の向上
- 働き方改革についての工夫
- 定年後も認定看護管理者であり続けることの意義について
- 看護師の急性期病院離れについて。
- タクスシフト、シェアの実践報告（2）
- 看護補助者の活用支援（看護補助者の確保も含む）
- 介護事業での活動報告や意見交換をしてほしい。
- 看護管理者のメンタルヘルスについて
- 看護職員の賃金制度（3）、看護管理者に対する診療報酬加算（3）、実践報告（公立病院、公的病院、社会保険関係団体、法人、個人）、それらに関連する活動の具体化を図りたいです。
- 随分前に厚生労働省の補助金を受けて看護協会が「政策立案研修」をしました。その際は、看護管理者の関心がなく 3 年で立ち消えになっています。ぜひ看護管理者として重要な内容なので取り上げて欲しい
- 地域特性に応じた看護管理者の取り組み（2）、認定看護管理者ならではの取り組みについて。
- 管理全般
- DX と看護教育
- 職位を無くした認定看護管理者の心理
- 特定行為研修修了者の活動状況と課題（2）
- 認定看護管理者やリソースナースの地域での活用
- 病院経営
- 認定看護管理者更新回数別の活動紹介
- 医療・福祉の現状が把握できることに期待
- その他

  県の役員の方にも、役員依頼文書を出していただくとありがたいです。認定更新の時に役立ちます。

  定期的な支部の懇談会を開いていただきたい。二か月一回、第三火曜 16 時～ZOOM など。

  都道府県の看護管理者会の組織化が推進されることを期待しています。

以上